

ミクロ経済学B 復習用

1～5回

2018年10月23日

生産

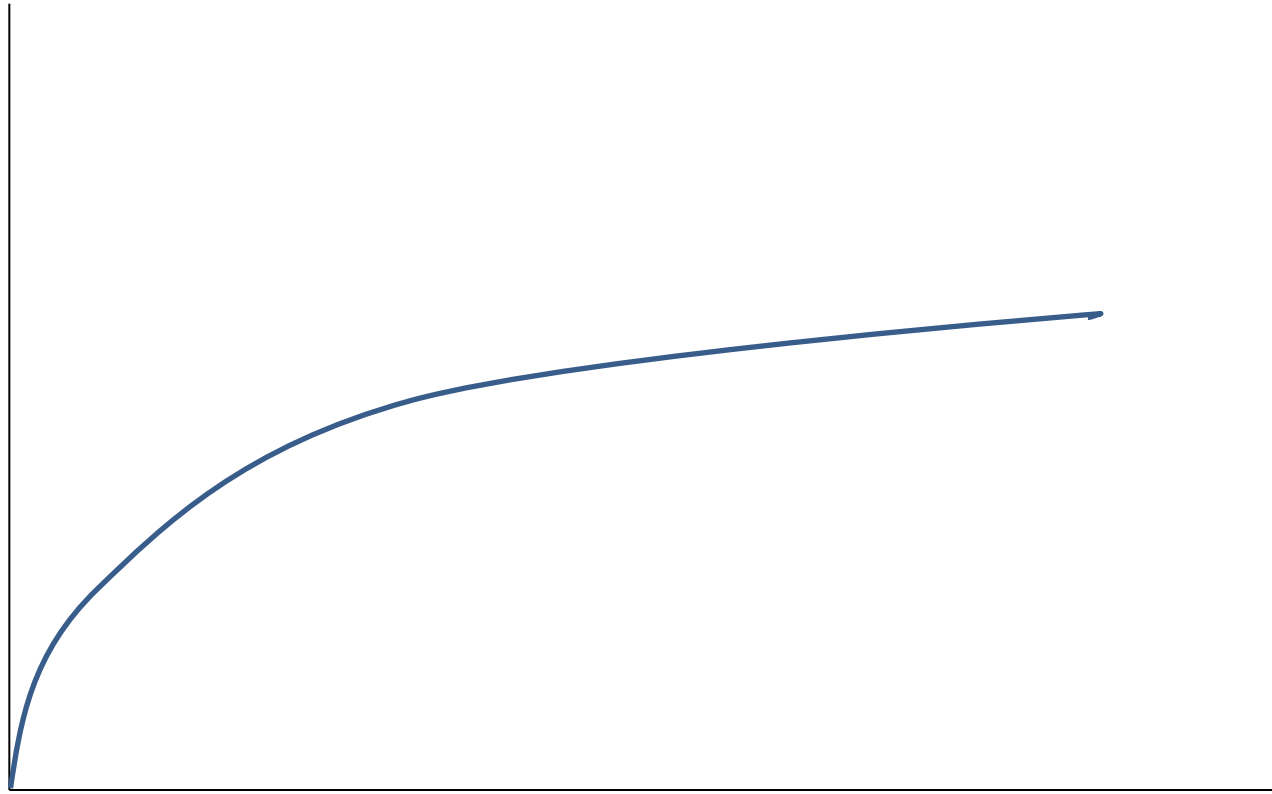
- 生産とは、役にたつモノ・サービスを作ること。
- 生産には、生産要素が必要
 - 生産要素は、労働と資本(土地も含むことがある)である。
 - 労働は、人間が働くこと
 - 資本は、生産に使用する物的な手段(機械、設備、建物、土地(農業などの場合)など)
- 練習問題: 生産要素を2種類あげよ。

短期と長期、固定と可変

- 生産要素は、短期に投入量を変えられるものと変えられないものがある。
- 通常、労働の投入量は、短期で変えられる。資本の投入量は、短期では変えられない。資本の投入量を変えられるのは、長期の場合。
- 資本の投入量は、工場を建設し、壊れるまで使うという長期的な時間の中では、変えられる。
- 練習問題：短期的に変えられる生産要素は何か。

生産関数：増加、収穫逓減

生産量



労働

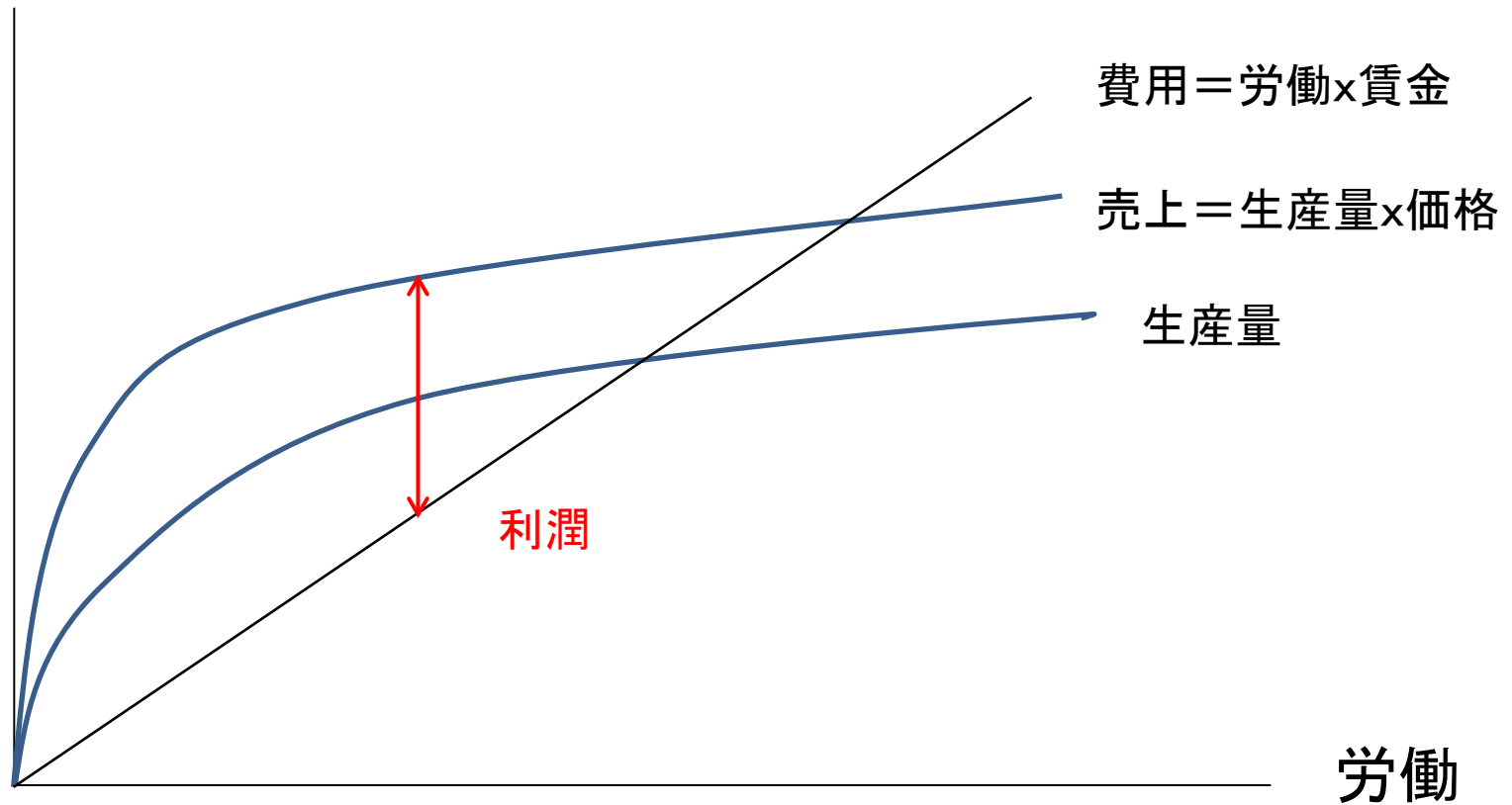
収穫逓減の意味

- 労働投入を1単位増やしたときに得られる生産量の増加分(限界生産物)が、労働投入が増えるとともに減っていくこと。
- 練習問題: 限界生産物の意味を正確にかけ。
- 資本が短期では固定されているため、労働投入を増やしていくと、その生産に対する効果が小さくなっていくため。
- 練習問題: 収穫逓減の理由をかけ。

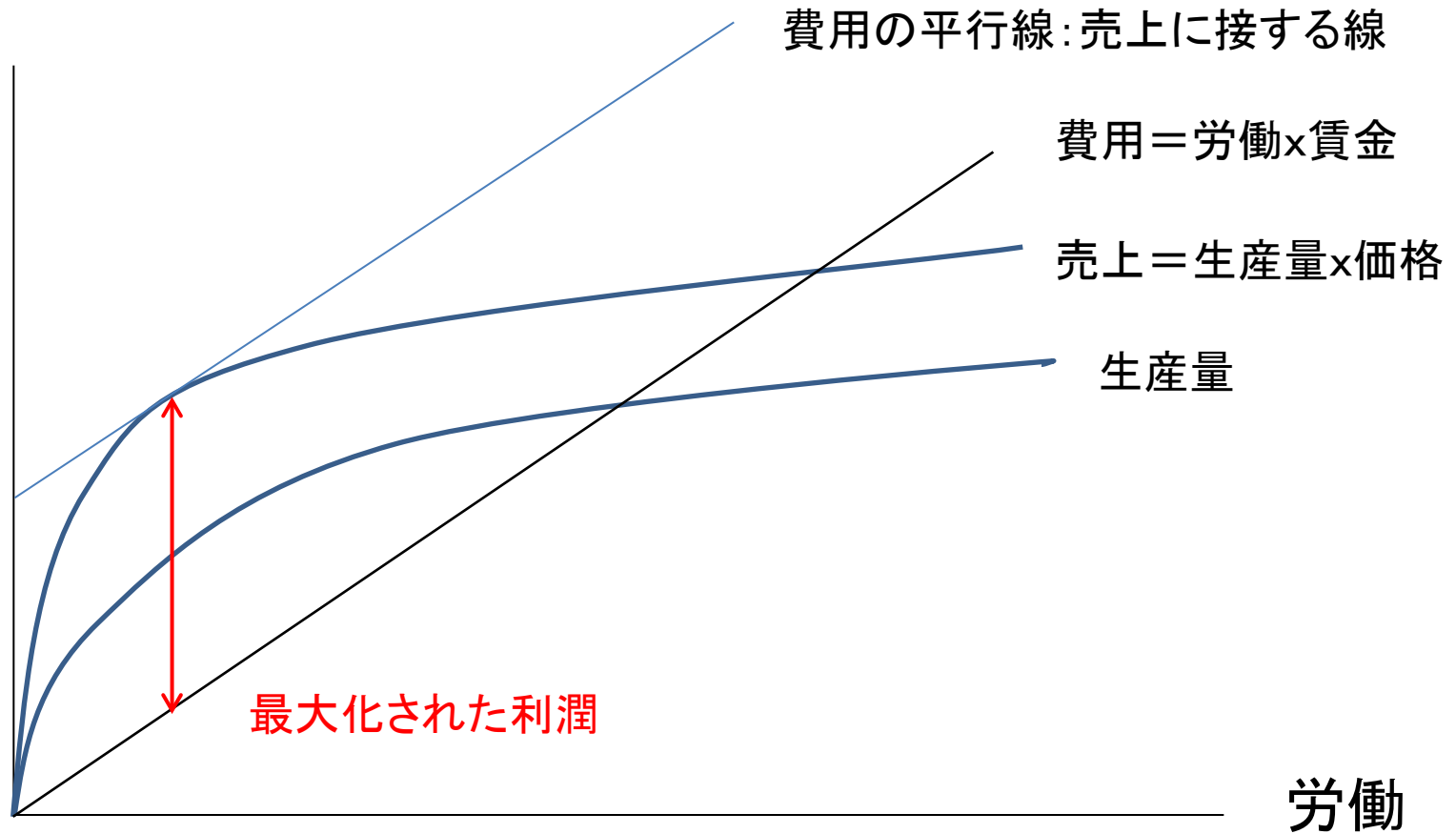
利潤

- 利潤を最大化するように、企業は生産量を決める。
- 利潤は、売上マイナス費用である。
- 短期では、売上は、生産量 $\times$ 生産物価格である。費用は、労働 $\times$ 賃金
- 生産物価格と賃金は、完全競争の場合は、固定されてる。

利潤を図示する



利潤の最大化



価格が上昇した場合は、生産量が増える＝供給曲線が右上がり

